

## 『無視できないムシの話』

深浦診療所 所長 吉岡秀樹



アフリカに住んでいるときは、虫との戦いでした。

蚊に刺されればマラリアになるのではないかと心配しました。サバンナでは、ツェツエバエの大群に服の上から身体中を吸血されて、体をくねらせながら痛い思いをしました。ツェツエバエは「アフリカ眠り病」を媒介することで有名なのですが、発症を心配して夜も眠れない日が続きました。

職員の皮膚に出来物ができて切開をしたところ、生きたうじ虫が出てきたことがあります。蠅蛆症（ようそしょう）と言うのですが、ウマバエと言うハエが外に干した洗濯物に卵を産みつけて、幼虫が人間の皮膚に移行したものでした。気持ちの良いものではありません。

日本でもムシに出会うことがあります。

ハチに刺されて診療所を受診された方もいると思います。

アシナガバチやスズメバチに刺されると怖いというのはよく知られています。これらの獰猛なハチは、強い毒を何回も刺して他の小昆虫・小動物を食べます。英語ではwaspと言って、ミツバチのbeeと区別されています。

マダニに刺されて受診される方もいます。マダニは血を吸って1cm以上に膨らみ、頭を皮膚に埋め込んだまま足を動かしていますので気持ち良いものではありません。

東欧・ロシアでは「ダニ脳炎」を心配しますが（予防接種があります）、日本では、マダニからウイルス性の「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」を起こすことがあります。主に西日本で起きていて、青森県では確認されていませんので、マダニはそれほど心配の必要はありません。

よくマダニに刺されて「ツツガムシが心配だ」と言う方がいます。

確かにツツガムシは早期に適切な治療を行わないと死に至る怖い病気です。

ツツガムシは「特徴的な刺し口」（直径約1cm）が重要な診断の糸口とされていますので、マダニのような大きなダニに刺されて起きるものと誤解されがちです。実際には、大きさが0.5mmぐらいの、目では確認できない小さなダニに刺されて起きます。刺されて数日してから炎症性に刺し口が黒っぽくなったり、周囲が赤く囲まれたような状態になります。大きさで言えば、アレルギーの原因で有名な家の中に存在するホコリダニやヒョウダニと同じくらいです。ホコリダニやヒョウダニを目でみたことがあるでしょうか？（古い本を開いた時によく見かけるのはダニではなくてチャタテムシと言うもので1mmぐらいなので目で確認できます。）

ツツガムシにならないためには、叢に入る時には肌を露出しないこと、虫除け剤（DEETまたはイカリジンが含まれるもの）をヤッケの上からもしっかりかけておくことです。

ムシと病気の話はいくらでもできるのですが、気持ち悪いと思いますので、今回はこのくらいで。

「農地の所有権移転・地目変更・転用許可申請」・  
「遺産分割協議」等々  
行政事務にかかる「お悩み」のことについて、  
お気軽にご相談を！！

**行政書士 岩谷 司 事務所**  
【青森県行政書士会所属】

住所 038-2501 青森県西津軽郡深浦町大字柳田字築棒沢133番地11  
電話・FAX 0173-76-2753

五所川原塗装工業会会員「心・技・色」  
青森県知事許可(般-2)400499号 fujichibisou

ベンキの  
お化粧屋 藤一美装  
一級建築塗装技能士  
一級鋼橋塗装技能士  
代表 藤田 一哉 単一等級調色技能士

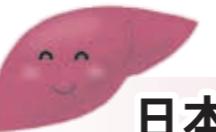
登録建設塗装基幹技能者 職業訓練指導員

地域密着型塗装店！お気軽にご連絡下さい。

※1.2ヶ月先の予約・来年の塗装予約もOK！

つがる市森田町床舞豊原1-8  
TEL 0173-26-4341 携帯 080-6001-1760

## 『健康こど宝』 深浦町保健センターだより



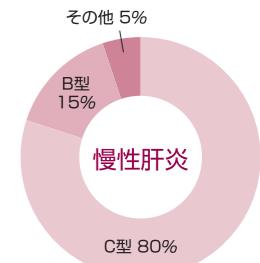
### 日本人に最も多い肝臓病『ウイルス性肝炎』

#### ◇ウイルス性肝炎って、どんな病気？

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染することによっておこる肝臓の病気です。肝炎を引き起こすウイルスには、A型、B型、C型、D型、E型などがあり、B型肝炎とC型肝炎は慢性化することもあるほか、放つておくと肝硬変や肝がんになる危険があります。肝炎ウイルスに感染していても自覚症状がないこともありますので、感染を知らないまま過ごす人も多くいる病気です。

B型およびC型肝炎は主に血液によって感染します。ウイルスを発見する検査法が確立する以前には、ウイルスが含まれている血液の輸血や血液製剤の使用、注射器の共用などで感染していました。また、予防対策が確立される前には、B型肝炎ウイルスに感染している母親から出産時に子どもへ感染することもありました。現在は、感染対策がとられているので母子感染はほとんど起きていません。近年、B型肝炎の感染経路として最も注意すべきなのはB型肝炎ウイルスに感染している人との性交渉による感染です。

肝炎の症状には、全身倦怠感・食欲不振・吐き気・嘔吐・黄疸などがありますが、自覚症状がないまま肝がんへと進行する場合もあるのでとても注意が必要です。



#### ◇肝炎ウイルスに感染しているか知ることから始めましょう

みなさんは今までに肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？

肝臓は“沈黙の臓器”です。肝炎に気づかないまま放置すると、知らない間に病気が進展し、肝硬変や肝がんなどの重篤な病気につながる恐れがあります。少なくとも一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けることが大事です。肝炎ウイルスに感染しているかどうかは血液検査でわかります。青森県では、県が指定する医療機関（県のHPに掲載）で、無料でB型およびC型肝炎ウイルス検査を受けることができますので、肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は受けてみてください。



#### ◇肝炎を重症化させないために

肝炎ウイルス検査を受けて陽性と判定された方は、必ず精密検査を受けましょう。また、肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんで療養中の方は、定期検査を受けて重症化させないようにしましょう。県では、これらの検査費用の助成も行っており、対象になるか知りたい方は下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】健康推進課 TEL 82-0288